

令和 7 年 11 月 1 日 発行
企画・編集 松崎 靖
発行 (株)足利屋洋品店
みどり市大間々町4-1380 (〒376-0101)
Tel 0277-73-1212
Fax 0277-70-1066

虹の架橋は足利屋・さくらも一アスクが毎月1日発行する地域新聞です



今月の題字
蜂巢聡さん

(みどり市大間々町)

ドローン講習、IT事業、リフォーム等の会社を経営する蜂巢さんに足利屋の店頭リニューアルをお願いしました。夜のショーウィンドーもご覧下さい。

虹の架橋

検索

で、インターネットからでもご覧いただけます。



小耳にはさんだ いい話
(文責・靖) 《363》



夜もウィンドーショッピング
足利屋では、夜もウィンドーショッピングを楽しんでいただくために閉店後も定休日もシャッターを閉めないことにしました。シャッターを閉めない代わりに、店内外に録画式の防犯カメラを設置し、ショーウィンドーを明るく華やかにし、大型のスクリーンで

店内の様子や足利屋の歴史を紹介しています。そして、店の前の歩道にはロゴプロジェクトで足利屋のロゴマークが回転して斬新さを演出しています。大間々町では今、若い人たちが空き店舗などを改装して新しいお店を始めています。その店のお陰で夜遅くまで明かりが灯り、この町に賑わいと潤いと楽しさを与えてくれています。
みどり市では今、前向きな商店の支援策として、店舗リニューアル補助金の制度が始まりました。この制度は、店舗を改装して事業を継続して営む者に対しては、店舗の改修費や備品購入費の一部を補助しています。積極的に商売を続けたい人には有難い制度です。
お問合せはみどり市商工課へ。
(0277-76-1938)
親切丁寧に対応してくれますよ。



人生で起ることをすべて良きこと

感じ取れるようになります。そして、その『こころの習慣』を、意識的に実践する『こころの技法』にまで深めることができるならば、あなたの人生が大きく変わります。と書いています。
『こころの技法』とは、「人生で起ること、すべて良きこと」とや「人生で起ること、すべてに深い意味がある」といった言葉と自分の体験を重ね合わせ、「人生において成功は約束されていないが成長は約束されている」ということに気づくことだと思いました。
『困難にも感謝する』の本の中で著者の鍵山秀三郎さんは「すべての困難は必ず意味があつて身の

朝晩の冷えが、冬なのだ
と自覚させる。寒ければ寒

いほど春が待ち遠しいものであ
る。年中暑くもなく寒くもないとすれば、どうだろう。厳しい寒さゆえに暖かな日差しに感謝できる。人生も同じだ。厳しいことばかりの繰り返し、辛いことばかりの人生だ。しかし、やわらかい陽射しがさす時がある。それを感じたいものだ。そこに感謝できれば、季節は変わる。春を迎えるために冬があるのだ。夏の厳しさも、秋の実りのためにある。実りある人生のために、ここを超えていきたいものだ。

昨日、兵庫県のトイレ掃除仲間木南一志さんが上梓した『明日へ』という詩集を読みました。その本の最初に「寒さを感じて」という詩が載っています。
人生で起ることをすべて良きことと受け止める。田坂広志

世界一小さな
足利屋
トイレ美術館
今月の絵《363》
大野勝彦さん『出逢い記念日』

令和7年10月10日(金)
昨日と今日、ながめ余興場で「中村勘九郎・七之助錦秋歌舞伎公演」が開かれ、4回の公演で2千人が大間々で歌舞伎を楽しんだ。十八代・中村勘三郎さんは生前、地方に残る古い芝居小屋を応援するために巡業を行い、息子の勘九郎さんと七之助さん、その遺志を継いで地方公演を続けている。なかめ余興場で歌舞伎公演をするために、小屋の裏に仮設の楽屋を2棟建て、テントも張り、何十人もの裏方さんが大道具、小道具を運び込み、舞台と花道には檜の板を敷きつめて檜舞台にした。大間々のような芝居小屋での公演は採算が合わないのでは？と心配になった。公演の最後に勘九郎さんと鶴松さんが花道で披露した連獅子に感動した。首をグルグル回して獅子の長い髪を数珠に届くほど激しく振った。あんなに首を回していた目も回るだろうと思った。なかめ歌舞伎が赤字で首を回さなくなるといふ黒子の会も一杯手伝いたい。

錦秋や花道を往く勘九郎
バブルの時代に全国の芝居小屋が次々に姿を消し、ながめ余興場も取り壊して文化センターを作ろうという動きもありました。平成5年にながめ黒子の会が結成され、今では歌舞伎公演も行われるようになりました。ながめ余興場の花道は、舞台に向かって少しだけ上り傾斜になっていて「出世花道」とも言われ、出演者からは、縁起のいい舞台と言われています。この花道で去年は中村勘九郎さんが「弁慶」役で薙刀を振り回し、大見得を切って喝采を浴び、6年前には七之助さんが「藤娘」の華麗な踊りで拍手喝采を浴びました。